

所 管 事 務 調 査 報 告

平成24年 2 月 23 日

薩摩川内市議会議会運営委員会
委員長 池 脇 重 夫

1 調査事項

議会運営に関する事項について

2 調査先

京都府亀岡市

3 調査日

2月1日から2日まで（2日間）

4 出席委員

池脇委員長，大田黒副委員長，小牧委員，福田委員，宮里委員，川添委員，中島委員，谷津委員，小田原委員

5 調査目的

先進的な取組を行っている類似都市を研修することにより，本市議会の議会運営に反映できないか調査する。

6 調査項目

議会運営について

7 調査概要

亀岡市議会では，議会活性化の取組として，平成10年10月から，議会運営委員会において「地方分権と市議会の活性化」をテーマに議論を始めた。その後，平成15年に議会活性化検討委員会，平成20年に議会活性化推進委員会，平成23年に議会改革推進特別委員会を設置して，更なる取組を進めてきた。

主な取組としては，質疑における通告制の導入，庁内でのモニター放送の開始，議長交際費の公開，議員定数の削減，行政視察報告書の公開，会議録検索システムの導入，市議会ホームページの開設，一般質問における一問一答方式の導入，費用弁償の廃止，常任委員会の月例開催，本会議の休日開催，政治倫理条例の制定，議会基本条例の制定，議会報告会の開催，決算審査における事務事業評価の導入などが挙げられる。

なお，議会報告会で紙面を工夫した議会だよりを用いて説明するといった，市民に分かりやすく身近な市議会を目指す取組も行っていった。

8 所感

亀岡市議会の取組には，本市議会がこれまで議会改革特別委員会で議論し，実施してきたものもあったが，早稲田大学マニフェスト研究所による議会改革度調査2011で全国第12位となった議会改革の取組やその姿勢には目を見張るものがあった。

視察した項目については，今後，本市議会の議会運営に反映できないか検討していきたい。